

# ワーカーになって思うこと

「とんがらし」ワーカースタッフ 赤松 由美子

こんにちは。この3月から、シーンの「とんがらし」ワーカーとして活動している赤松と申します。市民活動が趣味で……というわけではないのですが、シーン以外では「おやおやネット」と「ひらひら」の2つのグループに参加して活動しています。

シーンのメンバーは面白くて愉快な人が多いことに気づき、活動に参画する楽しさを感じるようになりしました。(入会する以前に抱いていた、シーンメンバーの印象は、「賢くて真面目でしっかりしている。」でした。今の印象もモチロン同じです！)

いつもいつも時間が無いのが悩みの種で、特に家の掃除をする時間が全然ありません。……いえ、たとえ時間があっても掃除はできてません。掃除は超苦手です。

「子育て支援」に関わりたいたいと思いい、とんがらしのワーカーを始め自分ですが、本当に求められている子育て支援は、今自分ができていることよりも更に奥にあるものだと感じています。

ワーカーになってからあつという間に5カ月近く経ち、もはや「新人です」と言い訳しにくい状況になっていきますが、仕事のたびに失敗や反省を繰り返す毎日です。正直、覚悟が足りてませんでした。

少しでも、その奥の部分に近づけるよう、悩んだり落ち込んだり笑ったりしながら、今しばらくの間はジタジタ頑張ってみようと思つています。

「とんがらし」ワーカーがこんなに

みなさん、どうぞよろしくお願ひします。

しかしながら、日が経つにつれて

# よろしくお願ひします！

「とんがらし」新コーディネーター 今中 貴子

私がSEANの講座に興味を持って受講し、会員になったのは次男が幼稚園に通い始めた年でした。昼間ひとりになる時間がやつともてるようになって、自分のことに少し目を向け始めたころでした。

7年くらい専業主婦をしていて子育てだけの生活をしていたので、SEANで出会う方たちのお話はとても新鮮でした。なにせ私は「NPO」、「ジェンダー」という言葉も知らなかったのですから！養成講座で配られたワーカースタッフへの保育の心得には、大きく次の5つの項目が書かれていました。

お子さんを預かるときにも大切なことですが、自分の子育てにももちろん大切なことばかり。

そしてワーカースタッフとしてお子さんとふれあうようになって、自分の子どもたちにもやさしく(寛容に)なれたのは、とてもよかったです。と思います。

初めのころは緊張でいっぱい、午前2時間の保育をして帰ると、昼食もとらず倒れこんで眠ってしまった記憶があります。ワーカーの仕事は、責任は重いし体力もいります。この度、コーディネーターを引き受けることになり、仕事をやり始めたころのことも思い出しつつ、ユウザーさんもワーカーさんも元気になれるようなコーディネーターを目指したいなと思つています。これからもよろしくお願ひします！



## 保育の心得

- ①ジェンダーにとらわれない視点での保育をしましょう
- ②子どもを受け入れましょう
- ③否定形ではなく肯定形の言葉を用いましょう
- ④安心して預けていただけるように心がけましょう
- ⑤安全に気をつけて保育をしましょう